

# 総合調整会議（2017. 10. 4）

○日時：平成29年10月4日（水） 午前8時42分～午前9時12分

○場所：栗東市役所3階談話室

○出席者：市長、副市長、教育長、部長等

## <会議内容>

### 1. 市長の指示事項

#### 市長からの指示

- ・今後開催する部別経営会議において、各部が抱える課題について何うので、考えを示すこと。
- ・山間地からの通学手段の件について、検討経過を報告すること。
- ・先日、守山市民病院の滋賀県済生会への移行の方針について発表があった。情報共有したいので、次回までに資料等を用意すること。
- ・「りっとう市民秋まつり」の概要が掴めていない。まつりの内容や周知方法等を確認しておくこと。
- ・国道1号・8号バイパス事業の今後の見通し及びスケジュールを報告すること。
- ・各学校施設において、放送設備の状態が悪いと聞く。状況を報告すること。
- ・平成30年度の財政健全化を目指してきたが、未だに厳しい財政状況にあることを認識いただきたい。平成30年度をひとつの区切りと考えて、その後の方向性を示したい。

### 2. 報告事項

#### 【案件名】(1) 平成30年度予算編成方針等について

- 市民政策部政策監、財政課長から説明
- ・平成30年度予算編成方針の報告を行うものである。
- ・10月13日に開催する予算編成説明会において説明を行い、予算要求書の提出期限は11月2日とする。

区分：了解

#### 【案件名】(2) 栗東市文化振興計画の見直しについて

- 教育部長から説明
- ・栗東市文化振興計画が今年度末に計画期間終了を迎えるため、現行の振興計画の成果と課題を整理し、今後5年間の文化振興の理念や基本的な方針を定めるべく、計画を見直すことについて報告するものである。

- ・本計画は、「市民主体、市民協働によるまちづくり」「交流や連携で活力を創造するまちづくり」「優れた自然環境や歴史を保全・継承し、発展させるまちづくり」を理念とする第五次栗東市総合計画を上位計画とし、文化政策と他の政策を包括的に推進していく上での指針となるものである。
- ・計画期間は、平成30年度から34年度までの5年間である。
- ・策定の方法は、栗東市文化芸術会議の開催（2回を予定）、パブリックコメントの実施等による。

#### 区分：了解

#### 【案件名】(3) 栗東市特別支援教育推進計画の策定について

→ 教育部長から説明

- ・平成29年3月に栗東市特別支援教育基本ビジョンを策定したことを受け、障がいのある幼児・児童・生徒の自立と社会参加の実現を具現化するため「栗東市特別支援教育推進計画」を策定することについて報告するものである。
- ・本計画は第五次栗東市総合計画を上位計画とし、本市の特別支援教育推進の基本となる計画である。
- ・計画期間は平成30年度から32年度までの3年間である。
- ・策定の方法は、栗東市特別支援教育推進協議会推進計画策定部会の開催（4回を予定）、保護者や市民、関係機関からの意見・要望調査の実施、教員からの意見聴取、パブリックコメントの実施等による。

#### 区分：了解

#### 【案件名】(4) 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

→ 教育部長、学校教育課長から説明

- ・平成29年4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が出たので、その概要と今後の取り組みについて報告するものである。
- ・各教科の平均正答率について、昨年度と比較して、小学校では国語A問題以外で、中学校では数学B問題で改善が見られた。
- ・児童生徒質問紙調査結果では、全国や滋賀県と比較して、ゲームを含め携帯電話やスマートフォンの使用時間が長くなる傾向、家庭学習の時間が不足している傾向がある。
- ・児童生徒質問紙の「学校のきまりを守っている」「読書は好き」と肯定的に回答した児童生徒は、平均正答率が高い結果となった。

- ・今年度から、本市の課題・弱点（正答率が低い問題）がイメージしやすいよう、各教科に例題を示している。
- ・本件は、議会説明会で説明した後、市ホームページにて公開する。

**区分：了解**

### 3. 閉会

#### 副市長からの挨拶

- ・部別経営会議が始まるので、部課長においては対応をお願いします。
- ・10月22日に衆議院議員総選挙が執行される。投開票事務従事者にあつては、自覚を持って、また、ミスがないよう十分注意を払って事務を遂行すること。
- ・各部長においては、休暇を取得する際は、緊急の場合を除き副市長まで事前に連絡すること。

以上